

2026「新社会人激励のつどい」が開催されました

4月8日、まつもと市民芸術館で「新社会人激励のつどい2026」が開催され、市内23事業所から141名の新社会人が参加しました。

この式典は松本市や関係団体が主催する行事で、市内の企業に新しく就職した新社会人を歓迎し、応援する場となっています。

松本市長は「自身の力を信じ、乗り越えようとする前向きな姿勢で取り組むことで、大きな成長に繋がる」と鼓舞しました。

新社会人の挨拶では「変化の激しい時代の中にあっても、常に前向きな気持ちで新しいことに挑戦し、成長し続けていく」と決意を語りました。

その後、タレントの峰竜太さんによる講演会、ミュージシャンの音喜楽ボーイズのライブが行われました。



新社会人の挨拶

第97回 松本地区メーデー開催

5月1日に第97回メーデーが開催されました。メーデーの始まりは140年前にアメリカのシカゴで8時間労働の実現を要求したことに由来します。当日はあいにくの雨でしたが、集まった労働者は物価上昇を上回る賃上げや平和な世界の実現などを訴えました。



あがたの森公園の集会の様子（連合系）



市勤労者福祉センターの集会の様子（労連系）

連合長野松本広域協議会はあがたの森公園で集会を開き、約500人が参加しました。丸山正秀議長は、不安定な時代だからこそ労働組合の存在が重要になっているとし、「団結して自分を守り、仲間を守り、助けることができる」と述べました。

松本地区労働組合連合会は松本市勤労者福祉センターで集会を開き、約200人が参加しました。上條晋議長は、賃上げの動きが見られるが地方にまで波及していないという認識を示した上で、すべての働く仲間が希望を持てる賃金と労働条件の実現を訴えました。